

日本学術会議シンポジウム

Let's Co-Produce!

—繋がる環境教育—

これからの環境教育は学校教育に留まらず、個別の教科の枠組みにも留まらず、
地域レベルで広く実践されている社会教育と連携し、ローカル／グローバルの垣根を超え、
様々な主体が既成の枠組みを越えて繋がる新しい協働によって創られる。

それは具体的にはどのように実現されるのか、
学際的・超学際的な観点からその実現への道や方法、内容を論ずる。

日時 平成27年11月29日(日)

13:30～17:30 (13:00開場)

会場 日本学術会議講堂

東京都港区六本木 7-22-34

東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 5 出口

入場無料・事前登録不要

プログラム

13:30～13:40 開会挨拶、趣旨説明 工藤由貴子(横浜国立大学教授・日本学術会議連携会員)

13:40～14:00 報告「提言『環境教育の統合的推進に向けて』(案)」 関礼子(立教大学教授・日本学術会議連携会員)

14:00～14:50 講演「環境教育、これまで、これから」 進士五十八(東京農業大学名誉教授・日本学術会議連携会員)

14:50～15:00 休憩

15:00～16:15 テーマ報告「繋がる環境教育」

「環境の世紀の暮らし方・生き方」

小澤紀美子(東京学芸大学名誉教授・日本学術会議連携会員)

「現場で“いのちの網の目”を学ぶ」

岡田真美子(兵庫県立大学名誉教授・日本学術会議第一部会員)

「逃げ地図づくりからみえてきたこと」

木下勇(千葉大学大学院教授・日本学術会議連携会員)

「多元的共生を志向する農を活用した環境教育の推進」

早川誠而(山口大学名誉教授・ときわミュージアム企画監・日本学術会議連携会員)

「環境を生きる・風景を繋げる」

鳥越けい子(青山学院大学教授・日本学術会議連携会員)

16:15～16:25 休憩

16:25～17:20 パネルディスカッション

パネリスト：進士五十八、小澤紀美子、岡田真美子、木下勇、鳥越けい子、早川誠而

コーディネーター：山田育穂(中央大学教授・日本学術会議連携会員)

17:20～17:30 まとめ「環境教育の今後に向けて」 氷見山幸夫(北海道教育大学名誉教授・日本学術会議第三部会員)

主催 日本学術会議 環境学委員会環境思想・環境教育分科会

お問い合わせ 環境思想・環境教育分科会委員長 工藤 E-mail: envedu2015@gmail.com